

# 「I-Scover SPARQL API を用いた動向分析システム」 榎さん、高橋さん、若原 教授の 福工大チームが「優秀賞」受賞



情報通信工学専攻修士課程 1 年  
高橋 和生さん

博士後期課程 2 年の榎 俊孝さん

情報通信工学科 若原 俊彦教授

3月24日（金）に名城大学で開催された電子情報通信学会の総合大会において、APIを用いたI-Scover利活用コンテストに応募した作品の第一次審査を通過した10作品の応募者によるプレゼンテーションが行われました。

学術分野のビッグデータを分析することにより、キーワード関連図の作成、キーワードの時系列分析、文献－著者間関係の可視化、トレンドレポートの作成、技術分野における師弟関係を示す技術家系図の作成など研究活動の効率化に有効な研究、アプリケーションが報告され、その後、第二次審査が行われ、若原研究室博士課程2年の榎 俊孝さん、同じく若原研究室の情報通信工学専攻修士課程1年の高橋 和生さん、そして若原 俊彦教授の福岡工業大学チームの作品が見事に「優秀賞」を受賞いたしました。

作品のテーマは「I-Scover SPARQL APIを用いた動向分析システム」。これは研究開発の動向を容易に把握できる動向分析システム「トレンドレポーター」を提案したもので、テキストマイニングにより文献の概要文から注目ポイントや課題を抽出する機能、文献の投稿件数から推定される研究トレンドの提示機能、文献キーワードの共起関係に基づいた共起語ネットワークの提示機能を有するものです。